

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	武雄市立北方小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の向上について、市販テストでは平均正答率83%であったが、学習状況調査の結果を見ると県平均を下回っているところが多かった。授業力を高める校内研修を今後も実施し、学力向上に向けて、全校で共通理解、共通実践していく必要がある。 ・教職員の働き方改革については、感染症対策で多くの行事が、規模縮小、中止になったこともあり、職員全体の時間外勤務時間は減少にある。今後も行事、業務の在り方、内容を見直し、効率を高めていくことが大事である。 ・地域の協力を得ながら、地域に根差した総合的な学習や生活科の実践に取り組んできた。児童の郷土に対する関心、愛着も高まってきている。今後も地域の方との連携を大切にしながら、学校教育目標にある「ふるさとを愛する児童の育成」に取り組んでいく必要がある。 ・いじめ、不登校、情報モラル、教育相談、特別支援教育など、今後も時代の変化に対応しながら教育活動に取り組んでいくことが大事である。
2 学校教育目標	かしこく やさしく たくましく ふるさとを愛する児童の育成
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ○質の高い教育活動の推進 ・学び合い高め合う教師集団「チーム北方小」の育成 ・学力向上のための取組の推進 ○地域と共に伸び行く学校づくりの推進 ・北方町が大好きな子どもの育成 ・地域との連携 ・幼小小・小中連携

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
				●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●全職員による共通理解と共通実践 ○児童の基礎学力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上 ○学習した内容について、市販テストにおける得点率80%以上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上対策評価シートをもとにした研修を年3回行い、職員間の課題の共通理解を図る。また、学習状況調査やCRTの結果をもとに改善策について話し合う機会を設ける。 ・日々の学習指導において、既習内容の定着状況を把握し、適宜指導を行うとともに習熟・定着を図る家庭学習に取り組ませる。 		
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> ●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達・先生・地域の方々に挨拶をしたり声を掛けられたときにははっきりと答えたりする児童80%以上を目指す。 ○道徳科の授業実践100%。 ○人権・同和教育に関する全学級での授業実践および人権集会の実施。 ○異学年での交流活動や縦割り班活動の実施。 ○毎週、全職員で情報共有する機会を設定する。 ○定期的に生活アンケート、いじめアンケートを実施し、児童の心の健康状態を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元氣よく挨拶をしたり分かりやすく受け答えをしていたりする児童を称賞したり、全体の場や放送で紹介したりして、他の児童の意欲を高める。 ・毎週の授業実践と授業参観(ふれあい道徳)の実施。 ・人権教育の授業実践と人権集会の実施。 ・異学年での交流活動や縦割り班活動の実施(1年生を迎える交流・6年生とのお別れ交流・給食や掃除の手伝い朝) ・気になる児童について情報共有し、全職員で見守り、支援する。 ・アンケートなどで把握した内容についての対応は、担任だけでなく、学年担任、級外の職員と相談しながら細かく対応していく。 						
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒99%以上 ○朝食をとって登校する児童90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活調査を実施する。 ・食事の大切さ、早寝早起き朝ごはんの励行について、給食時間や委員会活動などを活用し、指導する。 ・食習慣や生活習慣について、掲示物やお便りを活用し、啓発する。 						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県費職員の時間外勤務の平均時間が40時間以下を目標に業務改善に取り組む。 ・業務の効率化と退勤時間を意識した業務遂行を意図させる。 ・定時退勤日の設定および周知を行う。 						

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
				○個に応じた教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育のわらいや意義、本校での方針や取り組みについて理解し実践している教職員を100%にする。 ○個別の支援計画を保護者と共有し、将来を見据えて面談を行ったり日々の指導に当たったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内委員会や特別支援教育に関する研修会を実施し教職員の資質向上を図る。 ・「特別支援教育だより」や「懇談会資料」で保護者への啓発を行う。 ・巡回相談、通級教室、専門機関等に関する情報を保護者へ紹介し、利用を進めるとともに、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカー及び養護教諭、教育相談担当者と連携しながら特別支援教育の効果や必要性を啓発していく。 ・個別の支援計画同意書を取って作成し、個人面談の際に保護者へ提案、日々の指導に当たって学期ごとに振り返りを行う。 		
○郷土愛を育む教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が生まれ育った地域に誇りを持ち、自分の目標に向けて努力しようとする気持ちを育む教育活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域に愛着を持っていると回答する児童80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事や総合的な学習に時間、生活科等の時間に、地域の人と関わり合う機会を設け、自分たちが住む地域(人、もの、こと)の良さを味わえるような学習を進める。 						

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--